

競 技 注 意 事 項

1. 本大会は、2025年度(公財)日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項によって行う。
2. 男子一部校は次の12校とする。
東京農大二 前橋育英 樹 徳 桐生第一 勢多農林 健大高崎
太田東 前 橋 高 崎 桐 生 西 邑 楽 市立前橋
3. 招集について、トラック競技は各競技開始時刻の15分前、フィールド競技は30～60分前に完了し、同時にアスリートビブスの確認を行う（棒高跳は現地で行う）。
また、招集時刻が他の競技時刻と重なっている場合は同時出場届を、棄権する場合は欠場届（用紙は招集所に準備）を招集開始時刻までに競技者係（招集所）に必ず提出する。
リレー種目は各ラウンド第1組目の招集完了時刻60分前までにオーダー用紙を招集所に提出する（オーダー用紙は招集所に準備）。
招集時刻に遅れた者は、当該種目を棄権したものとして処理する。
4. アスリートビブスは、胸、背部に確実に取り付けること。ただし、跳躍種目については片方だけでもよい。トラック競技は本部で用意した腰ナンバーカードを指定された位置に付けること。腰ナンバーカードは競技開始直前に付け、終了直後に必ず返却する。
5. 着順または時間を元に次のラウンド進出のための最後の1枠を決定するにあたり同成績者がいる場合、全員を有資格者とすべきであるが不可能であれば抽選によって決める。また、準決勝・決勝の走路順は本部で抽選によって決める。
6. 競技用具は、会場備え付けの物を使用する。ただし、棒高跳のポールについては各自のものを使用してもよい。その他の物は、検定を行う場合があるが、許可なく競技場内に持ち込んではならない。
7. 投てき練習は危険防止のため、競技開始前、審判の指示によって行う。なお、補助競技場での投てき物を使用しての練習は禁止する。メイスンボールについては指定された区域で使用する。
8. 以下のフィールド種目においては計測基準記録を設ける。
 - 走高跳の最初の高さは、原則として男子一部・二部1m65、女子1m35とし、バーの上げ方は5cmずつとする。
 - 棒高跳の最初の高さは、原則として男子3m00、女子2m20とし、バーの上げ方は10cmずつとする。
 - 三段跳の踏み切り板の位置は、原則として男子11m00、女子9m00とする。
 - 投てき種目は当日、審判員と総務で協議の上、計測基準記録を設けることがある。
9. 競歩において、周回を残し、下記記録を超えた者については、競技を打ち切るものとする。
(5000mW 男子30分、女子32分)
10. 入賞者（1位～8位）は表彰するので、決勝終了後、20分以内に表彰者控え所に集合すること。なお、他種目の都合で来られない場合は、代理人が表彰を受けること。
11. 応援について、メインスタンドでの集団応援は禁止する。また、横断幕や幟の設置は本部の指示に従って設置すること。
12. 助力について、競技規則TR6に従う。なお、スタンドから映像を見せる事は認めるが、映像機器等をスタンドから吊り降ろしたり、競技者に手渡したりしての映像確認は認めない。
13. 環境美化について、各大会で清掃分担が割り当てられているが、グラウンド・スタンド・選手控え所・トイレ・更衣室など、使用した周囲も含めて美化に努めること。また、ゴミは必ず各自で持ち帰ること。補助競技場の清掃分担にあたっている学校は、使用された用器具をすべて片付けること。